

# 令和6年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

## ●施設概要

施設名	総和地区スポーツ施設	施設所管課	教育部 スポーツ振興課	
指定管理者名	古河市地域振興公社・日本スポーツ振興協会グループ	指定期間 (評価実施年)	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
			(指定期間 5年 のうち 3年目)	
施設設置目的	市民の健康づくり、余暇・スポーツ・レクリエーションの場、また、地域防災計画の災害時避難場所として幅広い年齢層から利用されている本施設は、市民の憩いの場、家族のふれあい、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を目的とした施設です。			
主な実施事業	施設の維持・管理運営に関するこ			

## ●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
345	303,406	15,970	19,824	172,938,850	217,520,854	216,916,670	604,184	スポーツ交流センター温水プール休止に伴う指定管理料補填あり

## ●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容			
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	A	他施設でのノウハウの活用や規定の遵守を継続しながら、財務状況の改善に努めていた。 収入を増やすための新たな収益源の開拓やコスト管理の見直しをしつつ、持続的な運営を目指す努力をしていた。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である			
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある			
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている  ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	A	管理運営の基本的事項については、基本協定・年度協定及び仕様書を遵守しており、公平性の確保に努め、利用者の意見等を反映した取り組みを行っていた。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている  ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている			
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である  ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている			
3. 施設運営の実態	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている  ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	A	日常的な点検から専門的な法定点検に関して適切に実施されており、利用者が安全に施設を利用できることを優先に施設運営をされていた。 また、消防法等に基づき避難訓練も適切に実施されていた。
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている  ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている			

				示している。		
3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している	A	運営に必要とされる資格(防火管理者、プール衛生管理者、普通救命講習修了者、公認上級スポーツ施設管理士等)を所持した人員を適正に配置している。 雇用条件や給与などの規程については必要に応じて修正し、労働基準法等関連法令を遵守するよう努めた。	A	人員体制については、運営に必要な有資格者などを配置し、人材育成のための研修会等を行っており、適正に運営されていた。 また雇用条件や給与規程を見直すことで運営の質と安全性を向上させることに繋がっていた。
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている	A	共同体の両団体ともに各種研修を実施した。公社は「クレーム研修」や「ハラスマント研修」等、5つの研修を受講した。 また、古河市副市長を講師に招聘し、研修を実施し、職員の資質向上等に努めた。 日本スポーツ振興協会は「マナー研修」「救急救命研修」等の研修を受講した。	A	自主的な研修等6件および市主催の研修も受講し、職員の資質向上に向けて積極的な人材育成に取り組まれていた。
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	日常及び定期清掃、保守点検を実施し、施設の維持管理に努め、報告書は隨時、市担当課に提出した。 簡易修繕については、職員がを行い、迅速な対応と経費削減に努めた。 温水プールでは「プールの安全標準指針」、「遊泳プールの衛生基準」などに基づき、安全衛生管理に取り組んだ。	A	維持管理については、施設および設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思われるが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努められていた。 また、各種点検および施設の不備箇所についても市への報告が速やかに行われていた。
	業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している	A	専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、その業務が適正に行われるよう管理監督に努めた。 なお、再委託する場合、原則として複数業者より見積もりを取るよう努めている。	A	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切であり、再委託業務の成果確認方法は報告書確認および現場確認により適切に行われていた。
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している	A	昨年度、代表団体が作成した「経営改革プラン」の数値目標に基づき、SNS等を活用し、施設の情報や自主事業、利用促進の教室などの情報、魅力を発信した。 各種教室の募集については、公式ホームページ・市広報紙への掲載、ポスター・チラシの作成・館内での配布を行った。	A	情報発信については、自主事業や利用促進の教室などの実施情報を様々な媒体を利用して効果的なPRに努められていた。
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる	A	利用者のニーズに合った、ワンコインレッスン自主事業等を見直し、利用者の拡大に努めた。 温水プールでは好評である、お子様を対象とした「キッズ・ポイントカード・キャンペーン」を継続して実施した。	A	様々な自主事業を企画して施設の利用拡大に努め、利用者数の増加に繋げられていた。
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剩余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	利用料収入は昨年度と比較し、大幅に改善することができた。修繕費については、予算額を超える240万円を執行した。 経費節減については、サービスが著しく低下しない範囲で節電、節水等を行った。 指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別し、管理を適切に執行した。	A	修繕、収支計画と結果、指定管理に係る会計管理、経費削減とも適切に管理されていた。

#### 【評価基準】

SS	優良: 仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの 【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良: 仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの 【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通: 仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分: 仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備: 仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

## ●総括評価

指定管理者	<p>1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。</p>	<p>本年度の収支については、604,184円の増収となった。主な要因としては、以下と考える。</p> <p>①中央運動公園を中心とした総和地区スポーツ施設全体の利用料の増収。 ②各種教室の見直し、教室数を増やし増収に繋げることができた。③丘里球場の休止等により、光熱費が削減。 ④可能な範囲で人件費等の支出を削減。</p> <p>施設の維持管理については、条例・仕様書等を遵守して、安心安全な利用環境を提供するとともに、お客様が利用しやすい施設運営に努めることができた。また、温水プールにおいては、利便性の向上のために、繁忙期である7、8月は利用時間を延長し、夏休み期間は休館日を設けず営業すること等を本年度も継続して行った。</p> <p>今後の課題としては、以下が継続した重要課題となるので、市担当課と連携しながら最善を尽くしていきたいと考える。</p> <p>①予約システム細部(備品等)の設定変更。 ②各施設や設備の老朽化への対応。(温水プール施設改修、トレーニング室機器修繕、乗用芝刈り機の新規購入等々)</p> <p>翌年度に関しても本年度同様に、JVによる互いの強みを生かし、様々な状況に適切に対応し、お客様に安全、安心な施設利用を提供することを最優先にして管理を行います。また、安定した管理運営ができるよう、収支バランスを注視するとともに、様々なアイデアを出し合い、利用料の増収と経費削減に継続して取り組む。</p>
所管課	<p>事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。</p>	<p>まず維持管理に関しては、施設および設備の老朽化等が目立つようになり、安全管理に苦慮されていると思うが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努められている。各種点検および施設の不具合箇所についても市への報告が速やかに行われており、指定管理者として可能な限りを尽くしていた。</p> <p>収支については、温水プールは繁忙期に利用時間を延長し、自主事業のスポーツ教室を多数企画し、什器備品等の積極的な購入投資、効果的なPR活動、実施内容の充実化等、利用者の利便性および利用促進、事業計画を積極的に推進した指定管理者の継続的な努力が収入増額という成果として報われた結果となった。</p> <p>全体的に、市と連携を図り、最善の策を講じながら管理運営されている。今後も継続して指定管理ならではの更なるスポーツ振興を期待する。</p>